

平成27年度

奈良県保健研究センター一年報

No.50

2015

ANNUAL REPORT OF
NARA PREFECTURAL INSTITUTE
OF HEALTH

はじめに

昭和41年12月に奈良県衛生研究所年報第1号を発行し、今年第50号の発行を迎えることができました。この半世紀の間、センターの名称も「奈良県衛生研究所」－「奈良県保健環境研究センター」－「奈良県保健研究センター」と変わり、環境部門を分離し、食品衛生・感染症業務を主とする組織へと変遷しました。この間の各関係機関及び国・各地方衛生研究所のご協力、ご指導ご鞭撻に感謝申し上げます。

今年は、改正感染症法施行年でもあります。法律制定施行後、時代の趨勢による所要の措置が附則に明記され、この規定により数度の一部改正が行われてきました。遺伝子解析技術等の進歩や感染症の蔓延防止対策への施策のため、病原体の遺伝子情報、薬剤耐性等の情報収集・解析の重要性が高まっております。今回、感染症の情報収集体制の強化や精度管理が導入されたことにより、地方衛生研究所の役割・業務を再認識する機会となりました。

一方、食品衛生、特に残留農薬分野にあっては、ポジティブリスト制施行後10年が経過し、関係業界・関係機関等に制度が浸透・定着する中、分析機関として、県民の食の安全・安心を確保するため、残留農薬基準の設定・見直し等に迅速に対応し、妥当性評価と精度管理を実施した検査体制の充実を図っております。

さて、平成27年度は、食品衛生関係では、ヒスタミンによる食中毒やフグ毒による食中毒事例が発生し、自然毒中毒に対する迅速な検査体制の確立が求められました。

微生物関係では、細菌分野にあっては、結核菌の分子疫学解析も3年目を迎え、JATA(12)-VNTR法に加え追加領域(12領域)による菌株の遺伝子解析も検討しました。また、カルバペネム系薬剤耐性遺伝子学的解析についても、医療機関の協力下で発生動向調査事業の準備を進めました。ウイルス分野にあっては、デング等の蚊媒介ウイルスやノロウイルスGⅡ.17を含む遺伝子学的解析を実施すると共に、手足口病流行状況調査、ヒトメタニューモウイルスやRSウイルスの検出状況等の解析を行いました。

グローバル化する社会で、人・食品等の国際移動が進む中、新興・再興感染症の発生や食品由来健康危機事例の発生は避けられない状況にあります。当研究センターが、各種健康危機管理事例発生時に地域の科学的・技術的中核機関として機能できるよう調査研究・検査業務を継続して参ります。

この度、平成27年度年報が出来上がりましたのでお届け致します。
今後とも、関係各位のご理解、ご支援及びご協力を賜りますようお願い致します。

平成28年10月

奈良県保健研究センター
所長 福田 忠明

目 次

第1章 総 説

1. 沿 革	1
2. 組 織	
1) 機構と事務分掌	1
2) 職員構成	2
3) 人事記録	2
4) 職員名簿	3
3. 施 設	4
1) 土 地	4
2) 建 物	4
3) 保健研究センター庁舎配置図	5
4. 新規購入備品	6
5. 予算及び決算	6
6. 企画情報関連	8
1) 職員の出席した学会，研究会，講習会，研修会等	8
2) 施設見学	10
3) 保健研究センター職員を講師とする講演会，技術・研修指導	10
4) 奈良県保健研究センター研究発表会	11
5) 保健研究センターホームページによる情報提供	11
6) 夏休みこども科学教室	11
7) 厚生労働科学研究事業への研究協力	12
8) 奈良県公衆衛生学会への協力	12
9) 信頼性確保業務	12
10) 外部評価制度	13

第2章 試験・検査概況

食品担当	15
細菌担当	20
ウイルス・疫学情報担当	28

奈良県感染症情報センター

第3章 調査研究・報告

第1節 原 著

1. 放射線照射された食品の検知方法の検討 —超臨界流体抽出（SFE）・GC/MSによるアルキルシクロブタノンの分析— 西山隆之・山下浩一・岡山明子	37
--	----

第2節 報告

1. ヒスタミンによる食中毒事例	村上友規・折口菜都希・安藤尚子・岡山明子	43
2. トリメチルシリルジアゾメタンによるオクラトキシン A のメチル化と GC/NCIMS 分析	北岡洋平・陰地義樹・山下浩一・西山隆之・山本雄也・岡山明子	46
3. 奈良県における結核菌の分子疫学調査 (2013-2015 年度)	田邊純子・辻本真弓・阿部剛士・橋田みさを・堀 重俊	50
4. 奈良県における腸管出血性大腸菌検出状況 : 2015 年度	阿部剛士・田邊純子・橋田みさを・堀 重俊	53
5. 奈良県における手足口病の流行状況 : 2013-2015	中野 守・米田正樹・稲田眞知・杉本大地・藤谷美沙子・北堀吉映	56
6. 奈良県におけるノロウイルス胃腸炎集団発生について -2014/2015 シーズン-	藤谷美沙子・杉本大地・米田正樹・稲田眞知・中野 守・北堀吉映	59
7. 感染症発生動向調査による患者発生状況 : 平成 27 年 (2015 年)	稲田眞知・藤谷美沙子・杉本大地・米田正樹・中野 守・北堀吉映	62

第3節 資料

1. フグによる食中毒事件の発生について	折口菜都希・村上友規・安藤尚子・岡山明子	69
2. 奈良県における食品由来大腸菌の AmpC 型 β ラクタマーゼ産生菌検出状況	吉田孝子・田邊純子・橋田みさを・堀 重俊	71
3. 奈良県におけるヒトメタニューモウイルスの流行状況 : 2014-2015	米田正樹・藤谷美沙子・杉本大地・稲田眞知・中野 守・北堀吉映	73
4. 奈良県における RS ウイルスの検出状況 : 2015/1~2015/9	米田正樹・藤谷美沙子・杉本大地・稲田眞知・中野 守・北堀吉映	75
5. 奈良県におけるノロウイルス GII.17 の検出状況	藤谷美沙子・杉本大地・米田正樹・稲田眞知・中野 守・北堀吉映	77

第4節 他誌掲載論文の要旨	79
---------------------	----

第5節 報告書の要旨	81
------------------	----

第6節 研究発表の抄録	83
-------------------	----

奈良県保健研究センター年報投稿規定	89
-------------------------	----

第1章 総説

1. 沿革

- (1) 昭和 23 年 6 月 25 日 奈良県告示第 167 号を以て、奈良市登大路町奈良県庁内に奈良県衛生研究所を設置
- (2) 昭和 28 年 3 月 31 日 奈良県条例第 11 号を以て、奈良市油阪町に庁舎を新築移転
- (3) 昭和 41 年 3 月 30 日 奈良市西木辻八軒町に奈良保健所との合同庁舎を新築移転
- (4) 昭和 46 年 3 月 24 日 奈良市大森町に独立庁舎を新築移転
- (5) 昭和 46 年 5 月 1 日 奈良県行政組織規則の改正により、総務課、環境公害課、予防衛生課の 3 課を設置
- (6) 昭和 48 年 4 月 1 日 奈良県行政組織規則の改正により、食品化学課を新設
- (7) 昭和 50 年 2 月 28 日 前庁舎に接して約 1, 276 m²の庁舎を新築
- (8) 昭和 62 年 4 月 1 日 奈良県行政組織規則の改正により、総務課、公害課、環境課、食品化学課、予防衛生課の 5 課制に編成替え
- (9) 平成 2 年 4 月 1 日 奈良県行政組織規則の改正により、総務課、大気課、水質課、食品生活課、予防衛生課に編成替え
- (10) 平成 12 年 4 月 1 日 県感染症情報センターを所内に設置
- (11) 平成 14 年 4 月 1 日 奈良県行政組織規則の改正により、奈良県保健環境研究センターと名称変更し総務課と試験研究グループ（大気環境担当、水環境担当、食品担当、ウイルス・細菌担当）に編成替え
- (12) 平成 18 年 4 月 1 日 奈良県行政組織規則の改正により、総務課、精度管理担当、大気環境担当、水環境担当、食品担当、ウイルス・細菌担当に編成替え
- (13) 平成 22 年 4 月 1 日 技術担当を置く
- (14) 平成 23 年 4 月 1 日 技術担当を解く
- (15) 平成 25 年 4 月 1 日 桜井市栗殿に新築移転、奈良県行政組織規則の改正により名称を奈良県保健研究センターに改め、総務課、精度管理担当、食品担当、細菌担当、ウイルス・疫学情報担当に編成替え
大気環境担当及び水環境担当は奈良県景観・環境総合センター大気係、水質係に編成替え

2. 組織

1) 機構と事務分掌 (平成 28 年 4 月 1 日現在)

所 長－ 副所長	総 務 課	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人事・予算・決算及び会計経理に関すること 2. 土地建物及び物品の維持管理に関すること 3. その他庶務に関すること
	精度管理担当	<ol style="list-style-type: none"> 1. 企画情報に関すること 2. 総合調整に関すること 3. 信頼性確保部門の指定職員業務その他精度管理に関すること
	食 品 担 当	<ol style="list-style-type: none"> 1. 食品、食品添加物、食器、容器包装、家庭用品等の理化学的試験研究に関すること 2. 食品中の残留農薬、重金属等有害化学物質の試験研究に関すること 3. 飲料水等の理化学的検査に関すること 4. その他食品衛生の理化学的試験研究に関すること
	細 菌 担 当	<ol style="list-style-type: none"> 1. 食品衛生、環境衛生等の細菌学的検査及び調査研究に関すること 2. 病原細菌の検査及び調査研究に関すること 3. 細菌学的検査の研修・技術指導に関すること
	ウ イ ル ス ・ 疫学情報担当	<ol style="list-style-type: none"> 1. ウイルス等の病原体の検査及び調査研究に関すること 2. 感染症情報センターに関すること 3. その他ウイルス性感染症等の研修・技術指導に関すること

2) 職 員 構 成 (平成 28 年 4 月 1 日現在)

区 分	事務職員	技 術 職 員			計
		薬 学	理工農学	臨床検査学	
所 長		1			1
副所長(兼)精度管理担当		1			1
総 務 課	2			1	3
精 度 管 理 担 当				1	1
食 品 担 当		2	6	1	9
細 菌 担 当		5	2	1	8
ウイルス・疫学情報担当		4	1	1	6
計	2	13	9	5	29

3) 人 事 記 録

退職及び転出

28. 3. 31	総 務 課 長	山 本 徳 子	退職
	統括主任研究員	北 堀 吉 映	退職
	主事 (再任用)	陰 地 義 樹	退職
28. 4. 1	主 任 主 事	阿 部 剛 士	エネルギー政策課へ

転入及び昇格

28. 4. 1	総 務 課 長	鈴 木 小百合	中和福祉事務所から
	主 任 主 査	岡 田 恵 江	主査から
	主 査	森 村 実 加	五條病院から
	統括主任研究員	榮 井 毅	食品衛生検査所から
	指 導 研 究 員	西 山 隆 之	主任研究員から
	指 導 研 究 員	田 邊 純 子	主任研究員から
	指 導 研 究 員	吉 田 孝 子	主任研究員から
	指 導 研 究 員	米 田 正 樹	主任研究員から
	主 任 研 究 員	佐 伯 美由紀	郡山保健所から
	主 任 主 事	千 葉 翔 子	環境政策課から
	主 任 主 事	村 上 友 規	主事から
	主 任 技 師	山 本 雄 也	技師から
	技 師	久 野 翔 平	新規採用

4) 職員名簿

(平成28年4月1日現在)

課・係名	職名	氏名	課・係名	職名	氏名
総務課 総務係	所長	福田 忠明	細菌担当 細菌チーム	統括主任研究員	堀 重俊
	副所長	大前 壽子		総括研究員	橋田 みさを
	課長	鈴木 小百合		指導研究員	田邊 純子
	(兼)係長	鈴木 小百合		指導研究員	吉田 孝子
	主任主査	岡田 恵江		主任研究員	佐伯 美由紀
精度管理担当	主任主査	森村 実加	ウイルス・ 疫学情報担当 ウイルス・ 疫学情報チーム	主任主事	辻本 真弓
	(兼)統括主任研究員	大前 壽子		技師	北本 友理
食品担当 食品化学チーム	総括研究員	森居 京美	技師	久野 翔平	
	統括主任研究員	岡山 明子	統括主任研究員	榮井 毅	
生活化学チーム	総括研究員	安藤 尚子	総括研究員	中野 守	
	主任主事	折口 菜都希	総括研究員	稲田 真知	
	主任主事	村上 友規	主任主事	千葉 翔子	
	総括研究員	山下 浩一	主任技師	杉本 大地	
	指導研究員	西山 隆之	技師	藤谷 美沙子	
	指導研究員	米田 正樹			
	主任研究員	北岡 洋平			
	主任技師	山本 雄也			

3. 施 設

1) 土 地

(平成 28 年 4 月 1 日現在)

地 名	地 目	面 積	現在の状況	所 有 者
桜井市粟殿 1000 番地	宅 地	3,709.88 m ²	宅 地	奈 良 県

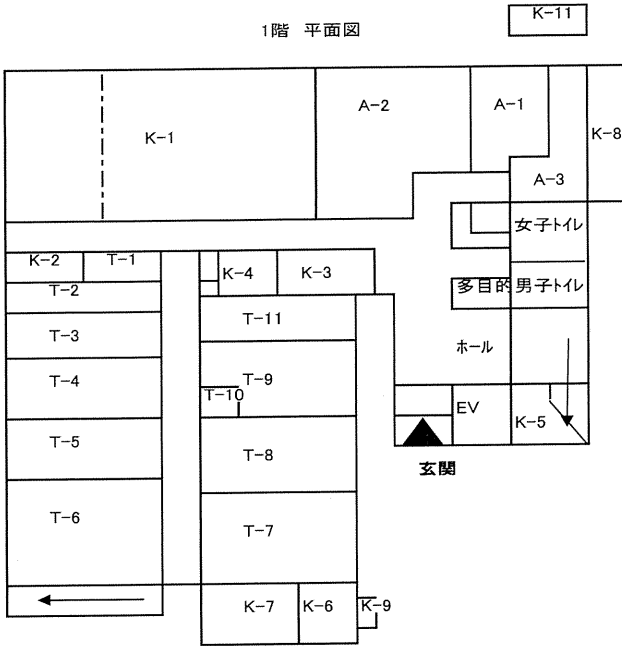
2) 建 物

(平成 28 年 4 月 1 日現在)

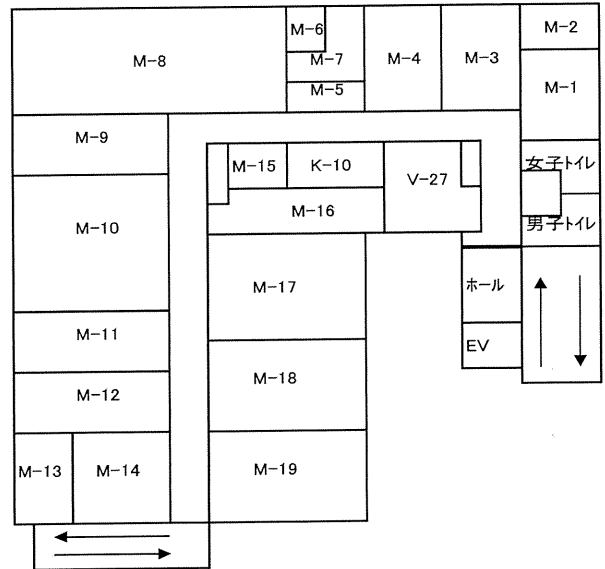
施 設	面 積	使用年月日	建物経過年数	所 有 者
本館鉄筋コンクリート 4階	3,264.17 m ²	平成 25 年 4 月 1 日	3 年	奈 良 県
(本 館 1 階)	(860.13)			
(本 館 2 階)	(786.77)			
(本 館 3 階)	(786.77)			
(本 館 4 階)	(786.77)			
(本 館 P1階)	(43.73)			
倉 庫	7.00	平成 25 年 4 月 1 日	3 年	

3) 保健研究センター庁舎配置図

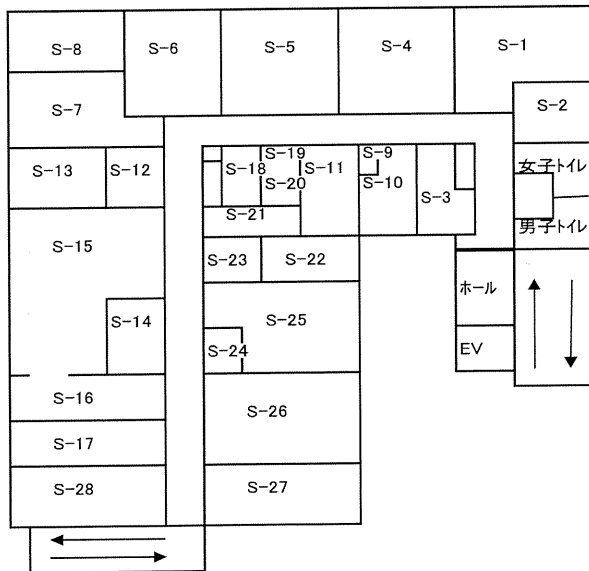
1階 平面図



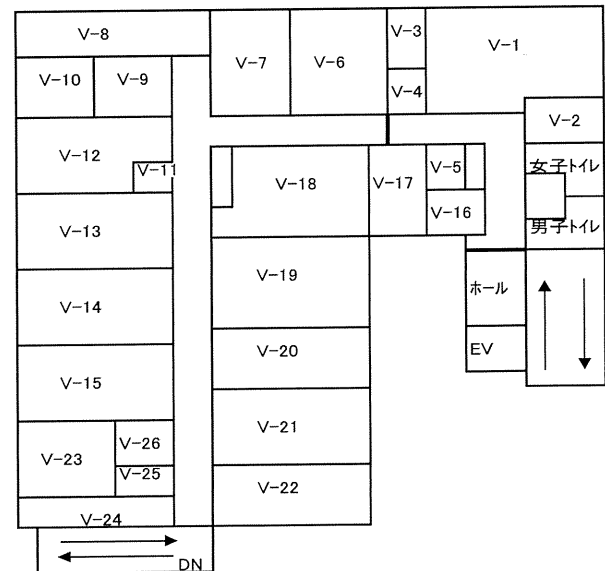
2階 平面図



3階 平面図



4階 平面図



- A-1 所長室
- A-2 総務課事務室
- A-3 倉庫
- K-1 会議室
- K-2 委託業者控室
- K-3 更衣室(女)
- K-4 更衣室(男)
- K-5 消化ポンプ室
- K-6 廃棄物保管庫Ⅰ
- K-7 廃棄物保管庫Ⅱ
- K-8 ボンベ置場Ⅰ
- K-9 ボンベ置場Ⅱ
- K-11 ボンベ倉庫
- T-1 倉庫Ⅰ
- T-2 大気器具機材庫
- T-3 大気機器分析室Ⅰ
- T-4 大気測定前処理室
- T-5 大気機器分析室Ⅱ
- T-6 大気検査室Ⅰ
- T-7 大気検査室Ⅱ
- T-8 放射能測定前処理室
- T-9 放射能測定室
- T-10 保管室
- T-11 騒音評価室

- M-1 水質検体受付室
- M-2 水質検体保管室
- M-3 水質器具器材庫
- M-4 水質機器分析室Ⅰ
- M-5 環境天秤室
- M-6 倉庫Ⅰ
- M-7 倉庫Ⅱ
- M-8 水質検査室
- M-9 BOD測定室
- M-10 水質機器分析室Ⅱ
- M-11 水質機器分析室Ⅲ
- M-12 水質機器分析室Ⅳ
- M-13 水質機器分析室Ⅴ
- M-14 水質機器分析室Ⅵ
- M-15 水質恒温室
- M-16 環境洗浄室
- M-17 水質前処理室Ⅰ
- M-18 水質前処理室Ⅱ
- M-19 水質前処理室Ⅲ
- V-27 水質細菌検査室
- K-10 図書室

- S-1 食品担当執務室
- S-2 理化学GLP管理室
- S-3 食品検体受付室
- S-4 食品検査室Ⅰ
- S-5 食品検査室Ⅱ
- S-6 食品検査室Ⅲ
- S-7 食品検査室Ⅳ-1
- S-8 食品検査室Ⅳ-2
- S-9 食品検査前室
- S-10 食品検査室Ⅴ-1
- S-11 食品検査室Ⅴ-2
- S-12 食品選心機室
- S-13 食品洗浄室
- S-14 標準品調製室
- S-15 農薬検査室Ⅰ
- S-16 農薬検査室Ⅱ
- S-17 食品器具機材庫
- S-18 食品冷蔵室
- S-19 食品冷凍前室
- S-20 食品冷凍室
- S-21 倉庫Ⅰ
- S-22 倉庫Ⅱ
- S-23 食品天秤室
- S-24 コンプレッサ室
- S-25 食品機器分析室Ⅰ
- S-26 食品機器分析室Ⅱ
- S-27 食品機器分析室Ⅲ
- S-28 食品機器分析室Ⅳ

- V-1 細菌・ウイルス疫学情報担当執務室
- V-2 感染症情報センター
- V-3 微生物GLP管理室
- V-4 微生物検体受付室Ⅰ
- V-5 微生物検体受付室Ⅱ
- V-6 食品細菌検査室Ⅰ
- V-7 食品細菌検査室Ⅱ
- V-8 微生物低温室
- V-9 微生物器具器材庫
- V-10 保管室
- V-11 ウイルス検査前室
- V-12 ウイルス検査室Ⅰ
- V-13 ウイルス検査室Ⅱ
- V-14 ウイルス検査室Ⅲ
- V-15 ウイルス検査室Ⅳ
- V-16 微生物洗浄室
- V-17 微生物準備室
- V-18 病原細菌検査室Ⅰ
- V-19 病原細菌検査室Ⅱ
- V-20 病原細菌検査室Ⅲ
- V-21 病原細菌検査室Ⅳ
- V-22 保管室
- V-23 高度安全実験室
- V-24 準備室
- V-25 エアロック室
- V-26 機械室

4. 新規購入備品 (単価20万円以上)

品名	規格	購入年月日
ビーズ粉碎装置一式	Fast Prep24 Instrument	平成27年6月12日
サーマルサイクラー	Veriti 96-Well	平成27年6月18日
卓上微量高速遠心機	CT15RE	平成27年10月29日
スパイラルプレーター	EDDY JET2	平成28年3月24日

5. 予算及び決算 (平成27年度)

歳入

(単位 円)

款	項	目	節	説明	予算額	収入
使用料及び 手数料	手数料	保健研究 センター 手数料	保健研究 センター 手数料	1. 食品検査	1,115,950	697,190
				(1) 一般食品検査	812,450	517,870
				(2) 食品細菌検査	303,500	179,320
				2. 水質検査	5,170,450	3,498,140
				(1) 飲料水検査	4,388,710	2,708,380
				(2) プール水検査	781,740	789,760
				3. 細菌検査	1,654,800	1,013,460
				(1) 結核菌検査	178,800	134,100
				(2) 培養・同定	1,476,000	879,360
				4. ウイルス検査	1,152,040	1,041,000
5. 臨床病理検査						
6. 衛生害虫検査						
7. その他の試験	1,051,630	1,468,700				
8. 証明書発行	1,230	1,230				
計					10,146,100	7,719,720

歳 出

(単位 円)

款 ・ 項 ・ 目	予 算 額	支 出 額	残 高
(款) 総務費	490,000	490,000	0
(項) 総務管理費	490,000	490,000	0
(目) 財産管理費	490,000	490,000	0
(款) 医療政策費	35,353,095	34,900,205	452,890
(項) 地域医療費	4,264,000	4,264,000	0
(目) 地域医療総務費	4,264,000	4,264,000	0
(項) 保健予防費	31,089,095	30,636,205	452,890
(目) 保健予防対策費	3,079,770	3,057,764	22,006
(目) 保健研究センター費	28,009,325	27,578,441	430,884
(款) 暮らし創造費	12,451,528	12,407,191	44,337
(項) 協働推進費	700,000	700,000	0
(目) 暮らし創造総務費	700,000	700,000	0
(項) 消費生活安全費	11,751,528	11,707,191	44,337
(目) 消費生活安全対策費	11,529,528	11,486,386	43,142
(目) 生活衛生指導費	108,000	107,373	627
(目) 動物愛護費	114,000	113,432	568
合 計	48,294,623	47,797,396	497,227

*保健研究センター執行分のみ計上 (人件費・大型備品・営繕費を含まず)

6. 企画情報関連

1) 職員の出席した学会, 研究会, 講習会, 研修会等

年・月・日	内 容	開 催 地	担 当
H27. 4.16~17	第 89 回日本感染症学会学術講演会	京 都 市	ウイルス・疫学情報
4.17	元素分析基礎セミナー2015	大 阪 市	食 品
4.27	大腸菌の O 血清群を PCR で判定する手法の概要と実践	大 阪 市	細 菌
4.23~24	平成 27 年度地方衛生研究所サーベイランス事業従事者研修	東 京	ウイルス・疫学情報
5. 8	2015 年度「ぶんせき講習会」(基礎編その 1)	大 阪 市	食 品
5.21~22	第 54 回近畿公衆衛生学会	奈 良 市	各 担 当
5. 22	平成 27 年度食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会	東 京	精 度 管 理
6. 5	厚労省通知法による腸管出血性大腸菌検査実習	東 京	細 菌
6. 9	ACQUITY UPLC/H-CLASS 理論操作コース	大 阪 市	食 品
6.11	平成 27 年度病原体等の包装・運搬講習会	大 阪 市	細 菌 ウイルス・疫学情報
6.12	阪神地区感染症懇話会平成 27 年度第 1 回講演会	大 阪 市	ウイルス・疫学情報
6.18	感染症に関する医療関係者研修会	京 都 市	ウイルス・疫学情報
6.19	平成 27 年度奈良県衛生関係職員研修会	大和郡山市	食 品 細 菌 ウイルス・疫学情報
6.26	2015 年 Shodex LC セミナー	大 阪 市	食 品
7. 3	水質・環境試料分析のための質量分析計セミナー	大 阪 市	食 品
7.14	採取した蚊等の識別依頼および識別方法の説明	大 阪 市	ウイルス・疫学情報
7.16~17	平成 27 年度結核予防技術者地区別講習会(近畿地区)	奈 良 市	細 菌
7.23~24	衛生微生物技術協議会第 36 回研究会	仙 台 市	細 菌 ウイルス・疫学情報
8.31	平成 27 年度厚生労働科学研究費補助金「食品成分が残留分析の測定値に与える影響に関する研究」第 1 回班会議	大 阪 市	食 品
9. 8	残留農薬分析セミナー2015	奈 良 市	食 品
9.29~ 10.1	平成 27 年度院内感染に関連する薬剤耐性菌の検査に関する研修	東 京	細 菌
10. 2	平成 27 年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部ウイルス部会研究会	神 戸 市	ウイルス・疫学情報
10. 9	滋賀県衛生科学センター講習会	大 津 市	食 品
10.15	登録検査機関及び食品衛生検査機関向け講習会	大 阪 市	細 菌
10.15~17	第 85 回日本感染症学会西日本地方会学術集会	奈 良 市	細 菌 ウイルス・疫学情報
10.21	全国環境衛生職員団体協議会・事例研究発表会	京 都 市	細 菌
10.21	第 16 回クロマトセミナー	奈 良 市	食 品
10.23	Dionex IC 技術説明会 2015	豊 中 市	食 品

10.29～30	第110回日本食品衛生学会学術講演会	京都市	食品 細菌 ウイルス・疫学情報
11.9	C型肝炎対策～C型肝炎・肝臓がん撲滅を目指して～	奈良市	ウイルス・疫学情報
11.12～13	第36回日本食品微生物学会学術総会	川崎市	細菌
11.13	平成27年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部 理化学部会研修会	神戸市	食品
11.19	第36回奈良県公衆衛生学会	橿原市	各担当
11.20	平成27年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部 自然毒部会研究発表会	和歌山市	食品
11.24	平成27年度「地域保健総合推進事業」全国疫学情報ネット ワーク構築会議	東京都	ウイルス・疫学情報
11.27	平成27年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部 細菌部会研究会	大津市	細菌
12.3～4	第52回全国衛生化学技術協議会年会	静岡市	食品
12.4	第2回FDSC食品衛生精度管理担当セミナー	東京都	精度管理
12.4	第11回Jサイエンス分析セミナー 食品分析にまつわる 師走セミナー	大阪市	食品
12.9	平成27年度環境衛生監視員スキルアップ研修会	奈良市	細菌
12.11	平成27年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部 疫学情報部会定期研究会	京都市	食品 ウイルス・疫学情報
H28.1.15	平成27年度厚生労働科学研究費補助金第2回班会議	大阪市	食品
1.15	阪神地区感染症懇話会平成27年度第2回講演会	大阪市	ウイルス・疫学情報
1.28	平成27年度地方感染症情報センター担当者会議	和光市	ウイルス・疫学情報
1.28～29	第29回公衆衛生情報研究協議会総会・研究会	和光市	ウイルス・疫学情報
1.31	「成人の重症肺炎サーベイランス構築に関する研究」研 究班 平成27年度第2回班会議	東京都	細菌
2.10	平成27年度地方衛生研究所全国協議会衛生化学分野 研修会	東京都	食品
2.13	食品科学研究のための基礎セミナー	津市	食品
2.17～18	平成27年度希少感染症診断技術研修会	東京都	細菌 ウイルス・疫学情報
2.18	第50回ペストコントロールフォーラム	京都市	ウイルス・疫学情報
2.19	第8回放射性物質検査に関する全国研修会	東京都	食品
2.20	第31回日本環境感染学会総会学術集会	京都市	細菌
3.4	平成27年度全国結核対策推進会議	東京都	細菌
3.11	「ジカウイルス感染症」に関する全国担当者会議	東京都	ウイルス・疫学情報
3.17	平成27年度奈良県・奈良市結核コホート検討会	奈良市	細菌
3.22	改正感染症法の施行に係る病原体検出情報システム操作 説明会	東京都	ウイルス・疫学情報

(各担当：精度管理，食品，細菌，ウイルス・疫学情報)

2) 施設見学

年・月・日	見学者	人数	担当
H27. 4. 7	奈良県農業研究開発センター	2名	食品
6. 1	奈良県農業研究開発センター	2名	総務課 食品
9. 3	奈良県立医科大学医学部看護学科	32名	各担当
10.27	静岡県くらし・環境部環境局環境政策課 静岡県環境衛生科学研究所	2名 3名	各担当
12.24	東大阪市環境衛生検査センター	2名	細菌 ウイルス・疫学情報
H28. 1. 6	京都府保健環境研究所	5名	総務課 各担当

(各担当：食品，細菌，ウイルス・疫学情報)

3) 当センター職員を講師とする講演会、技術・研修指導

(1) 講演会

年・月・日	会等の名称	内容	発表者
H27. 5.16	第61回奈良県小児科医会学術集会	2014年のRSウイルスおよびロタウイルスの変貌について	ウイルス・疫学情報 担当：北堀
8.19	畿央大学・講義	感染症について	ウイルス・疫学情報 担当：北堀・米田
8.25	平成27年度第1回感染症対策研修会	感染症について（発生動向・新感染症）	ウイルス・疫学情報 担当：北堀・稲田
10.8	平成27年度感染症対策医師等研修会	奈良県における感染症危機管理としての行政検査実施体制	ウイルス・疫学情報 担当：北堀
11.26	平成27年度第2回感染症対策研修会	冬期に流行する感染症の発生動向と対策について	ウイルス・疫学情報 担当：北堀・稲田
11.27	平成27年度ボランティア親睦研修会	なら県政出前トーク 「自然毒中毒について」	食品 担当：岡山

(2) 研修指導

年・月・日	内容	対象者	人数	担当
H27.10.6～9	平成27年度奈良県立医科大学健康政策医学実習	奈良県立医科大学医学部4年生	15名	各担当
H28. 3. 1	エルシニア・エンテロコリチカに関する研修	地域医療振興協会市立奈良病院	1名	細菌

(各担当：食品，細菌，ウイルス・疫学情報)

4) 奈良県保健研究センター研究発表会

(1) 平成 27 年 6 月 26 日

発表者	発表演題
山本 雄也	奈良県における農産物中の残留農薬検査結果と農薬のリスクについて
田邊 純子	ヒト由来大腸菌における病原因子関連遺伝子の保有状況
杉本 大地	食中毒事例におけるノロウイルスの検出状況およびその遺伝子解析

(2) 平成 28 年 2 月 26 日

発表者	発表演題
村上 友規	ヒスタミンによる食中毒事例について
藤谷美沙子	奈良県における新規遺伝子型ノロウイルス GⅡ.P17-GⅡ.17 の発生状況
米田 正樹	奈良県における A 群ロタウイルス、サポウイルスおよびアストロウイルスの流行状況 (2008-2015)
田邊 純子	県内患者由来結核菌の VNTR 型別状況と遺伝系統 (2013-2015)

5) 保健研究センターホームページによる情報提供

平成 13 年 2 月 1 日より奈良県保健環境研究センター (当時) のホームページを公開し、情報提供を行っている。平成 25 年 4 月 1 日より大気・水質に関する環境部門が分離され、保健研究センターホームページとなったが、引き続き当センター研究発表会の概要を掲載する等情報提供を行った。

ホームページのアドレス (平成 27 年 4 月 1 日現在)

奈良県保健研究センター : <http://www.pref.nara.jp/4827.htm>

6) 夏休みこども科学教室

小学 4 年から 6 年生を対象に夏休みこども科学教室を開催した。

日 時	平成 27 年 8 月 1 日 午後 1 時～4 時
参加者	14 名
内 容	<ul style="list-style-type: none">・サインペンの色の成分をろ紙で分離してみよう・ボルボックス (水中藻類) や、ヒトの手の細菌を顕微鏡で見よう・上手な「手洗い」ってどうするの

7) 厚生労働科学研究事業への研究協力

(1) 食品の安全確保推進研究事業

i) 研究課題「研究機関の信頼性確保に関する研究」

分担研究課題「残留分析の測定値に与える食品成分の影響に関する研究」(食品担当)

ii) 研究課題「鶏肉及びその関連製品中の抗ウイルス剤の一斉分析法の開発に関する研究」(食品担当)

(2) 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業

i) 研究課題「食品由来感染症の病原体情報の解析及び共有化システムの構築に関する研究」(細菌担当)

ii) 研究課題「成人の重症肺炎サーベイランス構築に関する研究」(細菌担当)

(3) 健康安全・危機管理対策総合研究事業

研究課題「レジオネラ検査の標準化及び消毒等に係る公衆浴場等における衛生管理手法に関する研究」(細菌担当)

8) 奈良県公衆衛生学会への協力

奈良県公衆衛生協議会が主催し、平成 27 年 11 月 19 日奈良県医師会館で開催された「第 36 回奈良県公衆衛生学会」において、学会事務局として学会開催案内、発表演題募集、発表抄録作成、開催時の準備などを行った。

9) 信頼性確保業務

(1) 食品関係試験検査事業

「奈良県食品関係試験検査業務管理要項」に基づく食品関係試験検査業務の信頼性確保のため、「内部点検」、「精度管理」、「外部精度管理」を実施している。

i) 内部点検

理化学検査 5 項目、細菌検査 2 項目について実施し、結果は全て「適切」であった。

ii) 精度管理

理化学検査 8 項目、細菌検査 6 項目について実施し、結果は全て「良好」であった。

iii) 外部精度管理

(財) 食品薬品安全管理センターの外部精度管理調査に毎年参加している。

平成 27 年度の参加項目は下表のとおりである。

理化学調査	クロルピリホス
	マラチオン
微生物学調査	安息香酸
	黄色ブドウ球菌検査
	大腸菌群検査

(2) 感染症関係試験検査事業

各研究班が実施した精度管理研究に参加した。

厚生労働科学研究	コレラ菌の定性
AMED 委託研究開発事業	結核菌遺伝子型別
厚生労働科学研究	レジオネラ属菌
厚生労働科学研究	インフルエンザウイルス核酸検出検査
厚生労働科学研究	麻疹 real-time RT-PCR・遺伝子解析 EQA

10) 外部評価制度

(1) 外部評価制度の導入

調査研究業務に客観的かつ公正な評価を加え、調査研究の充実とその成果の普及を図ることを目的に、平成 19 年度から外部評価制度を導入している。

外部評価委員 (平成 27 年 4 月 1 日現在)

	氏 名	所 属
委員長	安田 恵子	奈良女子大学
委 員	藤井 智康	奈良教育大学
委 員	多賀 淳	近畿大学
委 員	矢野 寿一	奈良県立医科大学
委 員	須崎 康恵	奈良県立医科大学

(2) 平成 27 年度評価対象となった調査研究

担 当	主任研究者	課 題 名	共同研究者
食 品	西山 隆之	放射線照射された食品の検知方法の検討 —超臨界流体抽出 (SFE)・GC/MS によるアルキルシクロブタノンの分析—	山下 浩一
細 菌	阿部 剛士	県内の結核患者から分離された結核菌の分子疫学解析に関する研究	北本 友理 田邊 純子 橋田みさを
ウイルス・疫学情報	中野 守	奈良県における手足口病の流行状況把握に関する調査研究	稲田 眞知 米田 正樹 杉本 大地 藤谷美沙子

(3) 外部委員による総合評価

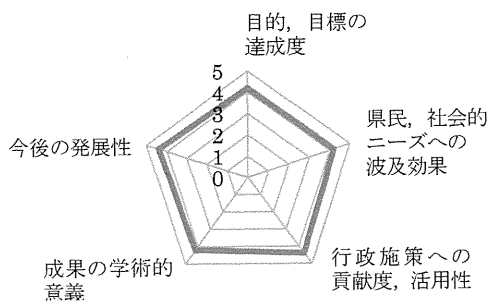
平成 27 年度の調査研究について、全体を通じ次のように評価された。

- ・3 題とも興味深い内容であった。業務で忙しい中、日々努力しデータを積み上げてきた結果である。
- ・県民の関心は高く、県民に向けて公表してほしい内容もある。公表方法を検討するなど、県民とのつながりを大切にしていきたい。
- ・今後も研究を発展させていただければと思う。

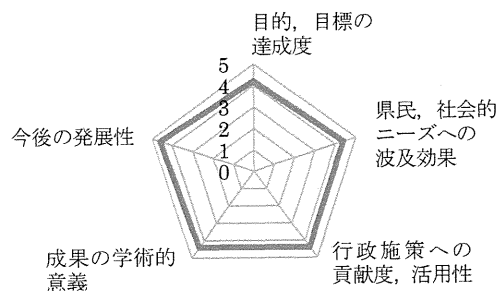
(4) 外部委員による個別評価

外部委員による評価は、①目的・目標の達成度、②県民・社会的ニーズへの波及効果、③行政施策への貢献度、④成果の学術的意義、⑤今後の発展性の観点から行われる。

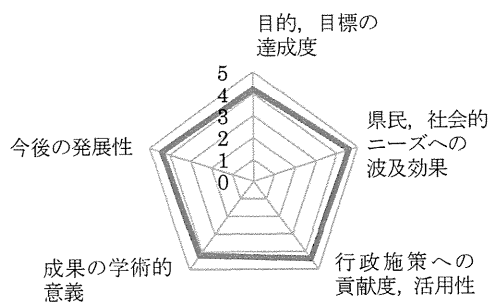
それぞれについて、5 段階評価で行い各委員の平均で表した。



放射線照射された食品の検知方法の検討
—超臨界流体抽出 (SFE)・GC/MS による
アルキルシクロブタノンの分析—



県内の結核患者から分離された結核菌の
分子疫学解析に関する研究



奈良県における手足口病の流行状況把握に関する調査研究